

(様式3)

### 自己評価結果票

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                 |
|--------------------|---|---|--|
| <b>理念に基づく運営</b>    |   |   |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |   |  |
| 1                  | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>      | <p>利用者が役割を持ち、地域との交流を図り、安心して家庭的な環境の下で、自由に伸び伸びとした日常生活が送れる介護を提供</p>          | <p>個人の状況に応じながら、施設外にて生活できる環境を提供していく</p>           |
| 2                  | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>                         | <p>ミーティングや日々の申し送りなどで理解を求める。</p>   |  |
| 3                  | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>グループホームと近い地域の方には、認知症の特徴等の説明はしているし、活動等にも参加しているので理解はされている。</p>           |  |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |   |  |
| 4                  | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>地域より山中腹にグループホームがある為に、近くの方が立ち寄ることは出来にくい。地域へ買い物行くことが多く、声をかけてくれる方もある。</p> | <p>施設行事等の参加の声かけをし、併設施設を利用しながら、グループホームを知って頂く。</p> |
| 5                  | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>   | <p>自治会行事参加の声かけは随時あり、参加し楽しんでいる。</p>  |  |

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んで<br>きたい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|------------------------------|---|---|---|
| 6                            | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  |   | <p>高齢者とは限らず、天災等がおきた場合を想定して、近隣の方に施設の訓練時に非常食の配布訓練をした。</p> |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |   |   |
| 7                            | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                          | <p>自己評価票に目をとおり、職員と共に作成する。評価等を活かせるように工夫はしているが改善計画書を作るまでには至らない。</p> | <p>必要に応じて評価後の改善計画を作成する</p>                              |
| 8                            | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | <p>第三者評価の意義や理解の説明で終わってしまう。</p>                                    | <p>意見を有効にサービス支援に繋げていく</p>                               |
| 9                            | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                               | <p>市の担当職員からは、都度に応じて連絡はある</p>                                      |   |
| 10                           | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>併設の居宅事業所介護支援専門員により、制度の説明を受ける機会がある</p>                          |   |
| 11                           | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | <p>虐待等については、去年の新聞報道を参考に説明をし、理解を得ている。</p>                          |   |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目)                        | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |   |                                  |
| 12                     | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | 不安が生じないよに、家族の立場に立って説明するように心がける                |                                  |
| 13                     | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | 随時の苦情の受付と、家族会等における個別相談を設けている                  |                                  |
| 14                     | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>         | 家族の定期的な面会もあり、必要なことはその都度解決している。                |                                  |
| 15                     | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | 随時の苦情の受付と、家族会等における個別相談を設けている                  | 家族代表者としての意見ではなく、個別に相談される方が多い。    |
| 16                     | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | 個々の職員については、主任が聞くことが多く、主任より、職員の意見として業務に反映している。 |                                  |
| 17                     | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | 必要に応じて対応ができる職員配置を考えている                        |                                  |

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組んでいきたい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|--|----------------------------------|
| 18                 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>利用者が安心して過ごせる環境作りを第一に考えている。常勤職員3名は開設当初より勤務しており新入職員への指導を徹底している。</p> | <p>利用者の不安を拭うため職員の異動は、最小限にしたい</p> |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |  |  |                                  |
| 19                 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | <p>年度初めに年間研修計画を作成し個々に参加を促し資質向上に努める</p>                               | <p>研修で習得した事の有効活用をする。</p>         |
| 20                 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | <p>東播磨二市二町グループホーム協会に入会し意見交換等と行って。いく</p>                              | <p>他事業所との交流を深める。</p>             |
| 21                 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       | <p>年2回に面談の機会を設け職員の健康面や意見を傾聴し、働きやすい職場作りを目指している。</p>                   | <p>職員と気軽に対話できる環境と時間作る</p>        |
| 22                 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           | <p>資格習得した場合奨励金制度ある又昇給や適切な部署への配属もある。</p>                              | <p>一人一人の仕事内容の把握に努める。</p>         |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでいきたい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)    |
|----------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |   |   |                                     |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |   |                                     |
| 23                               | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                   | <p>入居前には、何度かホームへくる機会を作り、利用時の不安を最小限にしている。</p>                      |                                     |
| 24                               | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                        | <p>家族の困っていること等は、居宅支援専門員も含めて相談している。家族や居宅支援専門員等も含めての連携体制をとっている。</p> |                                     |
| 25                               | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>                                | <p>相談を受けた時に、知り得た情報等をもとに多職種で対応している。</p>                            |                                     |
| 26                               | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>グループホーム内での行事等に参加ができるように声かけをする。</p>                             | <p>入所前に使用していたサービス事業者から意見を聞いている。</p> |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |   |                                     |
| 27                               | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                     | <p>職員と利用者がお互いが協働しながら、和やかで安心できる場面づくりや声かけをする。</p>                   |                                     |

| 項目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組んでいきたい項目)                        | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|----------------------------------|
| 28 | <p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>       | <p>グループホームを理解して頂きながら、家族と共に利用者を支えている。</p>  |                                  |
| 29 | <p>利用者や家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>           | <p>面会に来られる頻度が多く、その都度に生活状況を説明している。</p>     |                                  |
| 30 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>              | <p>関係継続は、家族に協力をして頂いたり、知人の訪問を歓迎している。</p>   |                                  |
| 31 | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>              | <p>職員が調整役になり、利用者同士の間に入り、意見を聞く場を設けている。</p> |                                  |
| 32 | <p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> | <p>入所や入院等の面会に行くように努めている。</p>              |                                  |

| 項 目                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目)                            | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--|---|----------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  |  |   |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                 |  |   |                                  |
| 33                          | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>生活の場としての暮らしが、適切化どうかなどは、定期的に家族と話をしている。</p>      |                                  |
| 34                          | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                     | <p>生活背景を重視し、ある程度の生活リズムを整えていける条件作りをしている。</p>       |                                  |
| 35                          | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>   | <p>できないことが多くなってきても、出来る事を見つけて生活が維持できるよう支援している。</p> |                                  |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |  |   |                                  |
| 36                          | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>月1回のサービス担当者会議で解決すべき問題を話し合っている。</p>             |                                  |
| 37                          | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>定期的な見直しを、担当者会議で実施している。</p>                     |                                  |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                        | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)        |
|--|--|------------------------|---|
| 38<br>個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている         | 個別のケース記録・申し送り等で情報を共有し、毎日のケアに活かしている。                    |                        |   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>   |  |                        |   |
| 39<br>事業所の多機能性を活かした支援<br>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                  | 地域をめぐり近隣の方と話をしたり、自宅訪問を手助けをする。病院介助の代行等の実施や好きな物を食べに外食する。 |                        |   |
| <b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>  |  |                        |   |
| 40<br>地域資源との協働<br>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 地元の福祉委員の支援を受けている。                                      |                        | グループホーム内でのボランティアの受け入れを充実させる。            |
| 41<br>他のサービスの活用支援<br>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 地域の理美容サービスを依頼したりしている。                                  |                        |   |
| 42<br>地域包括支援センターとの協働<br>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議等に地域包括支援センターの職員が出席し、協力体制を整る。                     |                        | 成年後見制度の必要な方がいないが、今後も必要に応じた対応が出来る体制をつくる。 |

| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組んで<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-----|---|--|-----------------------|--|
| 43  | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>  | <p>定期受診等の同行・かかりつけ医との報告・指示は適切に実施され、緊急時のかかりつけ医への連絡もスムーズに行っている。</p>             |                       | <p>家族が受診に行かれる場合、かかりつけ医から情報が正確につたわらないことがたまにあるので、必要に応じて、家族対応の利用者でも職員同行できる体制をつくる。</p> |
| 44  | <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  | <p>かかりつけ医による画像診断等の実施・利用者の経過等を説明し、状況に応じた指示を受ける。</p>                           |                       | <p>家族に専門医の必要性を説明していく。</p>  |
| 45  | <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | <p>管理者が看護師資格があり、その都度相談に応じている。又併設の看護師も定期的に状態把握にグループホームにきて、日常生活における健康管理の実施</p> |                       |  |
| 46  | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | <p>入院後の利用者の状況を定期的に見舞い、入院によるダメージは多少しょうじて、できる範囲は退院後の受け入をしている。</p>              |                       | <p>入院先の相談員と退院に向けて定期的な情報交換を実施している。</p>  |
| 47  | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                  | <p>重度化に対応する体制はないが、日常の健康管理や急変時の対応については、随時話をしている。</p>                          |                       | <p>重度化に対応できるように医療についての研修等に参加する。</p>  |
| 48  | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>自然の流れの中で、終末に移行する場合等がかかりつけ医との協力の中で、利用者にとっての安心できる場所を確保できるようにして行く。</p>       |                       | <p>常勤・非常勤も含めて不安がないような体制を整える。</p>   |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目)                    | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)               |
|---|---|---|--|
| 49  | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | 生活が継続していけるように、必要な書類を情報提供している。             |  |
| <p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> |   |   |  |
| 50  | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>  | 施設内外を問わずに、個人のプライバシー保護について全職員で会議時に話をする     | 自己確認の為、定期的に認識する。                               |
| 51  | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   | いくつかの選択肢の中で、強制はせずにできる限り、利用者に決定して頂く。       |  |
| 52  | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                         | 個人個人のペースに応じた生活ができるように、スケジュールにも時間の余裕を持たせる。 |  |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>                                    |   |   |  |
| 53  | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                     | 化粧等は、個人が所有し、保管している方もあり、身支度の一環として声かえをしている。 | 出来なくなっている方も多いが、職員がそっと支援できる体制で、おしゃれを楽しむようにしていく。 |

| 項 目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|-------------------------------|---|------------------------|---|
| 54                            | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    |                        |   |
| 55                            | <p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>         |                        |   |
| 56                            | <p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>       |                        |   |
| 57                            | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   |                        |   |
| 58                            | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    |                        |   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |                        |   |
| 59                            | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |                        | <p>言葉で表現がしにくく、表情や仕草から求めているものを察し、職員が自然と行動にうつすようにしている</p> |

| 項 目             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | 印<br>(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|---|--------------------|----------------------------------|
| 60              | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>        | <p>必要に応じて小額金銭を持っているが、個人で支払うことのできる方は、声をかけてもされないことが多い</p>     |                    | <p>食材等の買い物に行った時、金銭を任せてみる</p>     |
| 61              | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | <p>季節に応じての外出はもちろん、個人の体調に合わせて散歩・外出は実施している。</p>               |                    |                                  |
| 62              | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | <p>遠くへの外出等は、事前に家族との調整や促しを実施している。</p>                        |                    |                                  |
| 63              | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                 | <p>書きたい時に手紙を書き、手紙を送ることを相手先に確認して郵送する。</p>                    |                    |                                  |
| 64              | <p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                  | <p>いつでも来園して頂けるように、6時～21時までの面会時間になっている。(仕事帰りでも面会に来れるように)</p> |                    |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |   |   |                    |                                  |
| 65              | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>施設全体で身体拘束防止に取り組んでおり、定期的な委員会を実施している。</p>                  |                    |                                  |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでい<br>きたい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|---|----------------------------------|
| 66  | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>    | <p>玄関の鍵に関しては、利用者の細かな配慮をする中で、その都度の配慮をする。</p>                                   |                                  |
| 67  | <p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>               | <p>利用者の見える所で、仕事ができるようにしている。夜間は、不眠で徘徊することがあってもすぐに気がつくように、モニターでの見守りも実施している。</p> |                                  |
| 68  | <p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>       | <p>個人が何を持っているのかを把握している。</p>   |                                  |
| 69  | <p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>    | <p>インシデント情報を得て、アクシデントに繋がらないようにする</p>  |                                  |
| 70  | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>              | <p>施設全体で救急蘇生や緊急時の勉強会に参加している。</p>  |                                  |
| 71  | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>グループホーム独自で避難訓練を行い、併設施設内での実施にも参加している。年に一度は消防職員の講習会を受けている。</p>               |                                  |

| 項目                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組んで<br>きたい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|----------------------------------|
| 72                        | <p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> | <p>個々のリスクに応じての説明を家族にし、職員側からの抑制がないような対応をしている。</p>                                      |                                  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |   |                                  |
| 73                        | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | <p>平素からの状態を把握し、常に関わることで体調の変化がないかを確認している。</p>  |                                  |
| 74                        | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>           | <p>薬剤提供書の内容を把握し、指示とおり服用できるよう管理している。服薬時必要に応じて開封して服薬できる状況にしている。</p>                     |                                  |
| 75                        | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>             | <p>食事内容を工夫し、又身体を動かす環境を提供している。</p>   |                                  |
| 76                        | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                  | <p>個人に応じての支援方法を把握し、時間を要しても歯磨きの実施をしている。口腔ケアの大切さを職員は十分把握している。</p>                       |                                  |
| 77                        | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      | <p>献立を作成し、食事内容については、定期的に管理栄養士のアドバイスを受けている。毎日の食事量の確認や水分確認を行い、少ないようであれば、個々の対応をしている。</p> |                                  |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んでいきたい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|---|----------------------------------|
| 78   | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>   | <p>マニュアルを作成し、施設全体への感染予防委員会にも参加をし、講習等の情報を職員へ促し、認識力を高める。</p>              |                                  |
| 79   | <p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>  | <p>必要以上の買い物はせずに、ほぼ毎日新鮮な物を購入し、保管している。衛生管理には、除菌や清潔に努めている。</p>             |                                  |
| <p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p> |   |   |                                  |
| 80   | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>                              | <p>季節感を味わうことができるように、玄関先にテーブルと椅子を配置している。</p>                             |                                  |
| 81   | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>個人で使用する物は、以前使用していた物が多く、馴染みの物を大切にしている。自分で作った物を居室に飾ったり、生活の場を楽しまれる。</p> |                                  |
| 82   | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                              | <p>利用者同士で話ができる憩いの場を提供している。いつでも座れるように随時に椅子やテーブルをおいている。</p>               |                                  |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組んで<br>きたい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|----------------------------------|
| 83                     | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>以前の生活を大切に、必要な物の持込みはしている。(写真・小物・位牌等)</p>                    |                                  |
| 84                     | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>      | <p>外気の風を定期的に取り入れてることで、自然を感じれるように努める。空調管理は、個人の状態に合わせて調節する。</p> |                                  |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |   |   |                                  |
| 85                     | <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>               | <p>安全確保と常に念頭に置き、必要に応じて生活環境を整える。</p>                           |                                  |
| 86                     | <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                         | <p>手作りの表札やなじみの着物を利用したのれんを利用者と作成する。</p>                        |                                  |
| 87                     | <p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                   | <p>小さな采園を持ち、収穫を楽しむ。玄関先にテーブルを設置し、食事をすることもできるように憩いの場を設けている。</p> |                                  |

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

| . サービスの成果に関する項目 |  |   |
|-----------------|--|---|
| 項 目             |  | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )         |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の<br>利用者の2/3くらいの<br>利用者の1/3くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない                  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と<br>家族の2/3くらいと<br>家族の1/3くらいと<br>ほとんどできていない    |
| 96              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ほぼ毎日のように<br>数日に1回程度<br>たまに<br>ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )          |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている<br>少しずつ増えている<br>あまり増えていない<br>全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ほぼ全ての職員が<br>職員の2/3くらいが<br>職員の1/3くらいが<br>ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ほぼ全ての家族等が<br>家族等の2/3くらいが<br>家族等の1/3くらいが<br>ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)